

とのみしだんかい
富海史談会

活動目的

郷土の歴史を掘り起こし、後世に正しく伝えることを目的としています。

活動内容

- ・郷土の有形無形の文化資料の調査研究
- ・文化財の資料収集並びに愛護思想の普及
- ・その他本会の目的を達成するために必要な事業

こんな協働に取り組んでいます！

◆課題・目標

地域に眠っている歴史的な史跡を、地域活性化の資源につなげていく

◆取組み内容

富海には旧山陽道や船蔵通り、伊藤・井上両公上陸遺蹟碑、登録有形文化財の清水家住宅など、江戸後期から幕末にかけての様々な歴史的な史跡があります。当会では古文書などの資料整理にあたっては、歴史的な資料整理ではあまり使われないグラフなどを活用して、わかりやすい独自の資料をつくっています。それらを富海の史跡ガイドに使えるように説明用ボードを作成しました。

また、歴史資料をまとめ、伝えていく活動を続けていく中で、富海史跡めぐりガイドブックへの情報提供や富海の歴史をまとめた冊子の原稿作成などに関わるようになりました。

更に、地域の方々の協力を得ながら、まち歩きイベントとして、JRふれあいウォークの実施、県立大学との連携による学生の受け入れ事業など、富海地域の史跡を観光資源として、活用する取組みを進め、地域の活性化を図っています。



▲説明用ボードを使ったガイドの様子

富海史談会 代表 出穂 稔朗

住 所 〒747-1111 防府市富海 2829

T E L 0835-34-0118

担当者：出穂 稔朗

U R L <http://blog.canpan.info/tonomishidankai/>